



2022年7月13日

各 位

会 社 名 株式会社ビジョナリーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 星崎 尚彦
(コード：9263 東証スタンダード市場)
問合せ先
役職・氏名 取締役執行役員CFO 三井 規彰
電 話 03-6453-6644 (代表)

(訂正)「特別損益の計上及び繰延税金資産の取崩し並びに

2022年4月期 連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」の一部訂正について

当社は、2022年6月17日に公表いたしました「特別損益の計上及び繰延税金資産の取崩し並びに2022年4月期 連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」につきまして、訂正すべき箇所が生じたため下記のとおりお知らせします。

なお、勘定科目の訂正のみであり、当期純利益金額に与える影響はありません。訂正箇所につきましては下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

「特別損益の計上及び繰延税金資産の取崩し並びに2022年4月期 連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」の提出後における会社法監査の過程で、記載内容の一部に訂正すべき事項があることが判明し、より適切な勘定科目に訂正することといたしました。

2. 訂正の内容

【訂正前】

1. 特別利益の計上について

2022年4月期の個別決算において、2022年3月17日付にて公表しました「連結子会社である株式会社 Enhanlabo の完全子会社化、同社のウェアラブル端末事業の会社分割による譲渡、及び当該子会社の解散・清算、債権放棄に関するお知らせ」の実行に伴い、債務保証損失引当金戻入益として407百万円を特別利益に計上し、債務引受損として394百万円を特別損失に計上いたしました。損益計算書上は、債務保証損失引当金戻入益と債務引受損を相殺し、特別利益として12百万円を計上しております。

なお、債務保証損失引当金戻入益は連結決算において消去されるため、連結損益計算書における影響はありません。

2. 特別損失の計上について

(2) 個別決算

・関係会社事業損失引当金繰入額の計上について

当社の連結子会社である株式会社 VH リテールサービス及び株式会社 VisionWedge について、2022年4月期末時点における債務超過の相当額について、関係会社事業損失引当金繰入額 988百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、関係会社事業損失引当金繰入額及び関係会社株式評価損は連結決算において消去されるため、連結損益計算書における影響はありません。

【訂正後】

1. 特別利益の計上について

2022年4月期の個別決算において、2022年3月17日付にて公表しました「連結子会社である株式会社 Enhanlabo の完全子会社化、同社のウェアラブル端末事業の会社分割による譲渡、及び当該子会社の解散・清算、債権放棄に関するお知らせ」の実行に伴い、債務保証損失引当金戻入益として407百万円を特別利益に計上し、債務引受損として394百万円を特別損失に計上いたしました。損益計算書上は、債務保証損失引当金戻入益と債務引受損を相殺するとともに、「2. 特別損失の計上（2）個別決算・債務保証損失引当金繰入額の計上について」の債務保証損失引当金繰入額と相殺して計上した結果、特別利益に計上された債務保証損失引当金戻入益はゼロになります。

2. 特別損失の計上について

（2）個別決算

・関係会社事業損失引当金繰入額の計上について

当社の連結子会社である株式会社 VisionWedge について、2022年4月期末時点における債務超過の相当額について、関係会社事業損失引当金繰入額5百万円を特別損失として計上いたしました。

・債務保証損失引当金繰入額の計上について

当社の連結子会社である株式会社 VH リテールサービスについて、2022年4月期末時点における債務超過の相当額について、債務保証損失引当金繰入額983百万円を特別損失として計上いたしました。損益計算書上は、「1. 特別利益の計上について」の債務保証損失引当金戻入益と債務引受損を相殺し、債務保証損失引当金繰入額970百万円として計上しております。

なお、関係会社事業損失引当金繰入額、債務保証損失引当金繰入額及び関係会社株式評価損は連結決算において消去されるため、連結損益計算書における影響はありません。

以 上